

2023 年度 事業計画書

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクリススポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクリススポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

1. 本年度の重要項目

新型コロナウイルス感染に関する行動制限は徐々に緩和されてきており、今期はほぼ通常通りの競技会運営が可能となると想定される。ただし完全に感染が収束したわけではなく、今期も競技会の実施については国や地方自治体の指針や状況を確認し会場での対策を実行し事業を進める。

1) カーボンニュートラルへの取り組み

国際社会がカーボンニュートラルの方向に急激に舵を切っていることに伴い、四輪/二輪業界、またレースの世界においても、早急な対応を行う必要があり、今年度より以下の施策を実施する。

- ・ 全日本ロードレース選手権 JSB1000 クラスにハルターマンカーレス社製の 100%非化石由来バイオレーシング燃料[Renewablaze Nihon R100]を指定燃料として採用した。

複雑な製造過程であることから非常に高価であることから、エントラントの負担軽減の為、同クラスに参加している車両銘柄、タイヤ銘柄より分担いただき、エントラントの購入価格を抑制。

- ・ 全日本トライアル選手権（全クラス）に EV 車両の参加を認め、規則を制定した。
- ・ 全日本モトクロス選手権 IA クラスに EV 車両の参加を認める。

2) 全日本選手権のシリーズ管理と露出強化

- ① 全日本モトクロス選手権シリーズ、全日本トライアル選手権シリーズのシリーズ管理は株式会社モトスポーツプロモーションに業務委託を継続。
- ② 全日本ロードレース選手権のシリーズ管理を（一社）MRP-J に業務委託する。

【委託内容】

● オフィシャルファンサイトのリニューアルと運営

大会後のレポートよりも大会前告知を SNS や映像等駆使し集客に寄与することをコンセプトとする。

- ・ 会場におけるシリーズスポンサー（ワンメイクタイヤ・ガソリン）の露出管理
- ・ 映像コンテンツ（動画配信・観客用アプリ）との連携、各主催者との連携等
- ・ シリーズ露出物のトーン＆マナーの統一
- ・ 全日本ロードレース選手権、全日本モトクロス選手権は Youtube ライブ動画配信の内容の向上

3) 個人会員会費の改定プラン策定

会員サービスの向上（競技会数の確保、競技環境・安全性向上）将来に向けた施策（CN 対応、全日本シリーズ管理）の為、2024 年の会費の改定案を策定する。

Ⅱ. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(約 400 大会予定)

2) 主要競技会日程

(1) ロードレース

①世界選手権／国際選手権競技会

全大会 M F J 共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

◎MotoGP 日本グランプリ

Round	日程	会場	開催クラス			
第15戦	9月29～10月1日	モビリティリゾートもてぎ（栃木）	MotoGP	Moto2	Moto3	ATC

◎世界耐久選手権 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース

第3戦	8月4日～6日	鈴鹿サーキット（三重）	EWC	NST		
-----	---------	-------------	-----	-----	--	--

◎アジアロードレース選手権日本ラウンド

第3戦	6月23日～25日	スポーツランド SUGO（宮城）	ASB1000	SS600	AP250	UB150	TVS
-----	-----------	------------------	---------	-------	-------	-------	-----

② 全日本選手権（全8戦）

全大会 M F J 共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

Round	日程	会場	全日本クラス				MFJ カップ
			JSB1000	ST1000	ST600	J-GP3	JP250
第1戦	4月1～2日	モビリティリゾートもてぎ	◎	○	○	○	○
第2戦	4月22～23日	鈴鹿サーキット（2 & 4）	◎				
第3戦	5月20～21日	スポーツランド SUGO	◎	○	◎	○	○
第4戦	6月18日	筑波サーキット				○	○
第5戦	8月19～20日	モビリティリゾートもてぎ（2 & 4）	○				
第6戦	9月2～3日	オートポリス	◎	◎	○	○	○
第7戦	9月23～24日	岡山国際サーキット	○	○	○	○	○
第8戦	10月14～15日	鈴鹿サーキット（MFJ-GP）	◎	○	○	○	○
クラス毎レース数 ◎は2レース			12	6	6	6	6

- ・ JSB クラス年間チャンピオンには『文部科学大臣杯』を授与。
- ・ ST1000/JP250 はダンロップ社とのワンメイクタイヤ契約、ST600 はブリヂストン社とのワンメイクタイヤ契約
- ・ JSB1000 クラスはハルターマンカーレス社のワンサプライヤー燃料契約

(2) モトクロス

① D.I.D 全日本選手権 (全 9 戦) MFJ グランプリはスポーツ庁後援／観光庁後援

Round	日程	会場	全日本クラス				併催
			IA1	IA2	IBOpen	Ladies	
第 1 戦	4 月 8～9 日	HSR 九州 (熊本)	○	○	○	○	○
第 2 戦	5 月 13～14 日	オフロードビレッジ (埼玉)	○	○	○	○	○
第 3 戦	6 月 3～4 日	スポーツランド SUGO (宮城)	○	○	○	○	○
第 4 戦	6 月 24～25 日	世羅グリーンパーク弘楽園 (広島)	○	○	○	○	○
第 5 戦	7 月 30 日	新千歳モーターランド (北海道)	○	○			○
第 6 戦	9 月 9～10 日	名阪スポーツランド (奈良)	○	○	○	○	○
第 7 戦	10 月 8 日	HSR 九州 (熊本)	○	○			○
第 8 戦	10 月 28～29 日	オフロードビレッジ (埼玉)	○	○	○	○	○
第 9 戦	11 月 11～12 日	スポーツランド SUGO (MFJGP 宮城)	○	○	○	○	○

・ 全日本選手権シリーズ冠協賛社：大同工業株式会社

② モトクロス全国大会 (MFJ 共催。スポーツ庁後援・観光庁後援)

開催月日：8 月 5 日～6 日 開催場所：宮城県・スポーツランド SUGO

内容：ジュニア・国内 A/B 級の全国選抜大会

(3) トライアル

① 世界選手権

5 月 20 日～21 日 開催場所：栃木県・モビリティリゾートもてぎ

開催クラス：TRGP、TR2、WGP MFJ 共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

② 全日本選手権 (全 8 戦) 第 8 戦はスポーツ庁・観光庁後援

Round	日程	会場	全日本クラス			
			IAS	IA	IB	Ladies
第 1 戦	4 月 2 日	キョウセイドライバード (中部)	○	○	○	○
第 2 戦	4 月 23 日	矢谷溪谷トライアル場 (九州)	○	○	○	○
第 3 戦	6 月 4 日	モビリティリゾートもてぎ (関東)	○	○	○	○
第 4 戦	6 月 25 日	湯浅トライアルパーク (近畿)	○	○	○	○
第 5 戦	7 月 16 日	わっさむサーキット (北海道)	○	○	○	○
第 6 戦	8 月 27 日	灰塚ダムトライアルパーク (中国)	○	○	○	○
第 7 戦	10 月 23 日	スポーツランド SUGO (東北)	○	○	○	○
第 8 戦	11 月 12 日	CTJ 大阪市中の島公会堂 (近畿)	○選抜			

・ 最終戦 CTJ は IAS のみ。第 7 戦までのランキング上位 10 名が出場権を得る。

③ トライアルグランチャンピオン大会

地方選手権国内日本一決定戦の全国大会を 11 月 19 日に関東地区・真壁トライアル場にて開催

開催クラス：GC/LTR/地区対抗

(4) 全日本スノーモビル選手権 (全 6 戦)

Round	日程	会場	全日本クラス				併催
			SX Pro	SX A1	SX A2	SX b1	
第 1 戦	1 月 29 日	ロッテアライリゾート (新潟)	○	○	○	○	○
第 2 戦	2 月 5 日	真狩特設会場 (北海道)	○	○	○	○	○
第 3 戦	2 月 12 日	土別特設会場 (北海道)	○	○	○	○	○
第 4 戦	2 月 29～30 日	ウイズユー四季彩の丘特設 (北海道)	○	○	○	○	○
第 5-6 戦	3 月 12～13 日	岩木青少年スポーツセンター (青森)	○	○	○	○	○

(5) 全日本スーパーモト選手権 (全 6 戦)

Round	日程	会場	全日本クラス			併催
			S 1 Pro	S1 Open	S2	
第 1 戦	4 月 16 日	スポーツランド SUGO (東北)	○	○	○	○
第 2 戦	5 月 21 日	HSR 九州 (熊本)	○	○	○	○
第 3 戦	6 月 11 日	エビスサーキット (福島)	○	○	○	○
第 4 戦	7 月 23 日	茂原サーキット (千葉)	○	○	○	○
第 5 戦	9 月 17 日	名阪スポーツランド (奈良)	○	○	○	○
第 6 戦	10 月 15 日	美浜サーキット (愛知)	○	○	○	○

(6) 全日本エンデューロ選手権

Round	日程	会場	全日本クラス				
			IA	IB	NA	NB	W
第 1 戦	3 月 19 日	テージアスランチ (広島)	○	○	○	○	○
第 2 戦	4 月 29～30 日	スポーツランド SUGO (東北)	○	○	○	○	○
第 3 戦	5 月 27～28 日	コスモスポーツランド (富山)	○	○	○	○	○
第 4 戦	7 月 29～30 日	御所オートランド (熊本)	○	○	○	○	○
第 5 戦	9 月 16～17 日	日高 (北海道)	◎	◎	◎	◎	◎

2. 表彰・顕彰

1) 全日本選手権ランキング表彰式 (MFJ MOTO AWARDS 2023)

全日本選手権各種目のランキング上位 3 名ならびに海外選手権上位者等の表彰を行う

開催日：2023 年 12 月 16 日 (土)

開催場所：東京・浜松町・ポートホール

2) MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂

殿堂評議員会にて殿堂顕彰者を選考予定。顕彰はランキング表彰式に併催

3. 普及活動

1) MFJ ロードレースアカデミー in MOTEGI

今期は最低催行人数に達せず、休止とし、若手育成事業は新たな枠組みで検討する。

2) 親子バイク祭り

① 2023 年 8 月にモビリティリゾートもてぎにてポケバイの体験試乗を開催

開催日程 第1回 8/5（土）～8/6（日） 第2回 8/26（土）～8/27（日）

開催場所 モビリティリゾートもてぎ 中央エントランス付近

主 催 千葉北ポケバイコース/MFJ

協 力 モビリティリゾートもてぎ

※同会場の電動バイクアトラクションとの連動でポケバイコースに誘引

② 2024 年 3 月東京モーターサイクルショーで体験試乗開催予定。

3) 一般ライダーに向けた活動（ツーリング・イベント等）

- ①（一社）日本ライダーズフォーラムと共催にて「にっぽん応援ツーリング」2023 を実施、ツーリングアプリを利用し、災害を受けた地域やコロナ禍で疲弊した観光地を訪れ、ボランティア活動や消費活動などを行った場合にポイントを与え、優秀者を表彰するなどの活動を継続予定。

全日本選手権会場をポイント獲得地に指定する

2023 年 4 月 29 日（土）～10 月 31 日（火）

- ②（一社）日本ライダーズフォーラム/風間深志事務所の主催する以下イベントを後援する

・ SSTR2023 石川県・羽咋市・ 5 月 20 日（土）～21 日（日）

・ 世界環境デーJoint motion ヘソミーティング in 山中湖 6 月 4 日 山中湖

- ③（一社）モトライダースサポートの主催するモトライダースフェスタ 2023

箱根エリアのアネスト岩田ターンパイク（占有使用）バイカーズラダイス南箱根、アネスト岩田スカイラウンジ、十国峠レストハウスを会場に、レース車展示、デモ走行、試乗会、等を行うイベントに協賛し、一般ライダーへのモータースポーツへの興味を喚起する。

開催予定：2023 年 10 月 22 日（日）

4. 代表選手派遣・認定

国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定を適時行う

トライアル デ ナション 9 月 9 日（土）～10 日（日） フランス オロン

派遣を計画：代表選手：小川友幸 氏川 政哉 小川 毅士

モトクロス オブ ネーションズ 10 月 7 日（土）～8 日（日） フランス エルニー

※FIM が急遽日程変更したことから、全日本 MX 九州大会と日程重複し、今期は派遣休止

ISDE 11 月 6 日（月）～11 月 11 日（土） アルゼンチン

※派遣予定なし

5. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会・各種目委員会にて以下課題に取り組む

- 1) ロードレースコース規定に基づき競技施設の定期査察及び改修査察実施
- 2) 公認規格に基づく装備品（ヘルメット/レーシングスーツ）の公認
- 3) 装備の推奨（マウスガード推奨、2020 年よりロードレース 18 歳以下にエアバッグ式プロテクション装着義務

化)

- 4) 熱中症・脳震盪・新型コロナなどの対応と復帰プログラムの推進（全種目も取り組む）
- 5) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートを競技会出場時に必携させ所持を確認する。
- 6) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備、AED 配備指示。
- 7) 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討
- 8) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 9) オフロード種目を中心に観客安全対策の強化。（マニュアルに基づきネット・コーステフ・立ち入り禁止表示等強化）※今期 JKA 補助金事業で表示を各地区主催者に配備
- 10) インストラクター養成事業の実施。
- 11) 全日本選手権の運営平準化の為、各主催者の主要競技役員を集めシーズン前に WEB セミナー/勉強会を開催する。（ロードレース・モトクロス等）
- 12) ドーピングコントロール（JADA の方針により今期も休止）
- 13) 全日本選手権のシリーズを通して一貫した判定と安全指導の為セーフティオフィサー 2 名を全戦に派遣する。（ロードレース）モトクロスはレースディレクション制度を取り 3 名の主要スタッフを派遣。
- 14) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

6. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣（またはリモートによる出席）
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣（またはリモートによる出席）。
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) その他国際交流の促進

7. 補助金事業

1) (公財) J K A オートレース

安全啓蒙表示の制作 交付申請額：2,446,400 円

内容： オフロード競技の会場に置いて、誰もがわかりやすい安全啓蒙の幕を製作し
安全な環境を作り、安全対策に資する。

8. 情報発信活動

1) 広報活動

会員、メディア・販売店・一般に対し、以下の媒体で発信する。

- ① MFJ オフィシャル HP。
- ② 全日本ロードは専用 HP を活用、全日本モトクロス/トライアル/エンデューロはシリーズ管理組織 Moto Sports Promotion にて専用 HP を作成しリンクする。
- ③ 2023 年 3 月のモーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を実施。
- ④ 広報部会活動
 - ・ 構成の見直しを検討
 - ・ 記者発表会/メディア懇談会を必要に応じて開催し連携を図り、告知協力を依頼する。
 - ・ 女性のモーターサイクルスポーツ参画応援サイト（Moto Ladies）継続
- ⑤ 2024 年度版国内競技規則書 WEB 版の制作
- ⑥ 主要競技会の開催告知プレスリリースを定期的にメディアに発信する。

2) プロモーション・マーケティング事業

以下項目の活動を実施する。

(1) プロモーション事業

- ① 映像製作/露出（GMP 社へ業務委託）
 - ・ 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録し BS12 にてダイジェスト放映（毎月末土曜 21:30～22:00・番組名：tv moto ちゃんねる） 放映後ネット配信（タイトル：moto Channel）
 - ・ Web 動画配信(You Tube)[タイトル：Moto Battle Live]で全日本ロードレース全戦のライブ動画配信（配信後アーカイブ）を実施。配信アナウンサーの全戦統一等番組内容の向上を図る。チャンネル登録者 6 万人を目標とする。（現在 5.3 万人）
 - ・ アメリカの動画配信チャンネル AEMG 社に全日本 RD=JSB1000 と JMX=IA-1 の決勝レースの動画を提供、同社の有料サイト「RydeTV」にて同社で英語 MC を入れた編集した映像を USA/カナダ/メキシコ/UK/南アに配信予定
- ② オフィシャルホームページ等広報（MRPJ へ業務委託）
 - ・ オフィシャルホームページ「JRR」にて情報発信
 - ・ メルマガ配信・写真等素材提供
- ③ 2024 モーターサイクルショー
 - ・ 2024 東京・大阪モーターサイクルショーでの展示ブース・ステージ等 PR 活動
- ⑤ ファンクラブの運営（ライディングハート社へ業務委託）

コロナ禍で 3 年間販売を休止したが、今期より再開。

(2) MFJ 会員へのメリット供与

- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide, パークアップ ビックカメラ JTB

(3) 上記プロモーション事業費での活動に加え、露出を拡大するため、協賛を募り、以下事業を実施する。

- ① 動画配信の強化（全日本モトクロス/ロードレース・GMP に業務委託）
 - ・ レースの配信の合間に選手/チームの紹介/インタビューなどで人を中心としたコンテンツを配信
 - ・ 上記によりレース間のインターバルのない番組的構成とする。
 - ・ RD/MX の配信ともシリーズ統一 MC を起用。※RD は会場 MC と共用の場合あり。
 - ・ 各大会用告知映像を製作し MFJ/主催者/関係者の HP/SNS で展開する。
- ② 観客用配信アプリ

全日本ロードレースの来場者向け動画配信アプリ（Grooview）は今期休止した。

- （４）販売会社代表で構成するMFJモーターサイクリススポーツ普及対策部会にて販売店を通じてE-チケットの取り扱い、レース情報の提供などを実施する。※E-チケットは用品量販店にも展開
その他レースと販売店の連携を企画する。

9. 組織

1) 地域管理

- ・ MFJ 組織改革に伴い、2021 年 4 月 1 日より、加盟団体事務局との関係を発展的に解消し地方部会・選手権等を管理する「広域事務局」を新たに立ち上げ 2 年が経過した。
- ・ 地方管理を行う中で管理体制を専門的人材、ならびに種目別に管理・配置することが、より効率的との考えに基づき 2023 年度より地域別管理体制から種目別管理体制へ移行する。なお、人員は、外部業務委託者 4 名と、本部担当職員 2 名で対応する。（日本二輪車普及安全協会からの出向職員 1 名は、2023 年 3 月末にて契約満了の為、本部へ帰還）
- ・ 3 年目を迎えるにあたり、得た知識・経験・人脈を今後の地域管理の効率化と底辺層入門者拡大に反映させ、より一層の地方活性化活動に尽力する。

■管理体制	責任者	隠岐 直広 MFJ 事務局長（6 月より藤岡新事務局長）
	広域事務局統括	中原 洋 スポーツ部地域振興管理課
	広域事務局補佐	佐野 克由 スポーツ部地域組織管理課 課長

- ① 広域事務局を新体制化し（地区担当を種目別に再配置）、地区専門部会の運営、地方選手権の管理、地方業務の経理業等に従事する。

◎体制：

- ・ 本部事務局員： 2 名専任
- ・ 外部業務委託： 要員 4 名 計 6 名体制

※外部委託先：株式会社小谷与商店

小谷徹 小谷与商店代表取締役社長・近畿トライアル副部会長・選手会長
池尻和彦 モトクロス副委員長・中国モトクロス部会長・ビレックス代表取締役
山田淳二 北海道トライアル委員・北海道モトクロス部会長
野口正義 マックスブレイン代表取締役（全日本モトクロス計測業務歴 10 年）

◎主な業務

- ・ 地区専門部会開催サポート/連絡/調整管理
- ・ 地方選手権（MX/TR/ED）の管理
- ・ 地区情報の発信（MFJ-HP）
- ・ 競技機材管理手配
- ・ 安全対策管理（救護機材・AED 管理手配）
- ・ イベント（催事）での地方入門カテゴリーの普及活動

- ② 8 地区の専門部会を登録し、大会数に応じた全国一律支援を行う

■地方選手権主催者への支援

1 大会あたりの申請料（MX・ED：23000 円 TR：17000 円）の無償化

■地方専門部会（MX・ED・TR 部会）への支援

部会活動費として、地方選手権 1 大会あたり 20000 円の支援を行う。（全 142 大会分）

■地方選手権出場選手への支援

公認クラス = シリーズチャンピオンヘメダル贈呈。シリーズランキング 1 位～6 位まで認定証授与

承認クラス = シリーズランキング 1 位～3 位まで認定証授与

※いずれもシリーズ戦が成立したクラスを対象。

2023 年度公認承認クラスの章典設定 対象者合計 725 個

※最終戦に暫定シリーズ ランキング表彰を行い、各クラスの表彰写真を各地区のHPに掲載。

③ 今後の課題

- ・ 特定地区の部会運営の共通フォーマット化
- ・ 部会の安定運営化を促進
- ・ 部会・主催者の活性化を目的とした活動支援と選手・役員育成の強化
- ・ 地方レースの普及、底辺拡大窓口の情報発信の強化（PR 強化）
- ・ 入門カテゴリー大会等の新規ユーザー獲得策の強化

2) 中央組織

(1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

10. 会員登録・公認事業

1) 会員登録事業

- ・ 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB 申請・郵送申請）
- ・ 今期より、ライセンス取得講習会をオンラインで行うシステムを稼働。種目に応じた内容の講習映像を視聴の後、テストを行い合格基準に達すればライセンス申請が可能となるもの、時と場所を選ばず受講可能になることからライセンス取得者の増加を期待する。
- ・ 特別会員・賛助会員・メディア会員の申請受付・登録作業を行う。

2) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

3) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認。必要に応じて査察を実施する。

11. サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・ 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認マークを販売する。
- ・ 規定に基づき、参加者の昇格申請、希望競技番号を管理する。

12. その他事業

(1) 諸会議の開催

MFJ のスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・ 理事会（6 月/12 月/3 月）・評議員会（3 月/6 月）
- ・ 中央スポーツ委員会・専門委員会・技術委員会・各種部会
- ・ シーズン前に規則の統一解釈の為適時セミナー／勉強会等開催

(2) スポーツ安全保険

- ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

(3) 新規雇用の募集

欠員の出た経理とスポーツ部の新規職員募集の為、人材募集会社と契約（2名予定）

(4) 就業規則・給与規則等の改定、フレックスタイム制の導入

以上